

## プロジェクト代表者

アントレプレナーシップ専攻 准教授 猪口 純路

## 研究テーマ

後志における農水産品のブランド化の課題に関する研究

## 研究実績の概要

当該年度の研究においては、後志地域における農産品のブランド化の課題を明らかにすることを目的として、既に成果を上げつつある農業生産法人と道の駅管理組合、現在試行錯誤でブランド化に取り組んでおられる農業生産法人グループと観光協会の4つの主体の方々へ、研究室所属の学生とともにインタビュー調査と分析をおこないました。

その結果、以下の点が主な課題であると考えました。(1)ブランド化のために必要なマーケティングに関する知識と理解、(2)ターゲット顧客と販路の整合性を確保すること、(3)旬の季節こそ有効な販路開拓やプロモーションに必要な経営資源を農作業に加えて割ける体制を確保すること、(4)ブランド化の取組を組織化していくこと、(5)地域でしか利用できない資源をブランド化に活用すること、です。

今回の調査を通じ、今後も取り組むべき地域の課題の一端が明らかとなったことは、その解決策の提案へ向けての良い準備となりました。なお、本調査の結果については、より詳細な報告書を作成し、調査先の許可を得て公開することを予定しています。

## プロジェクト代表者からのコメント

まだまだ調査を開始したばかりですが、後志には魅力的な農水産品が沢山あるにも関わらず、市場においてその価値を十分に実現できていないように思われます。他方で、国内と言わず、海外市場への展開可能性も視野に入れながら、後志農産品のブランド化に取り組み、着実に成果を上げつつある方々もいらっしゃるようです。日ごろの研究成果や学生との連携を通じ、後志農水産品の価値を高めることにつながるような調査と研究を進めたいと考えています。